

第556号

「島のひろば」編集委員会

電話 04992-2-8256

Eメール:jcposhima@yahoo.co.jp

www.3plala.or.jp/jcposhima/

(検索サイトからは「日本共産党 伊豆大島」)

くらしの相談は共産党町議団へ

山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318

日本共産党の見解を紹介します

法案に「自然成立」はない さらに運動つよめ、ひろげ 参院で戦争法案廃案必ず！

7月16日衆議院で「戦争法案」が強行採決されました。

この法案に対してはどの世論調査でも国民の過半数が「憲法違反だ」と批判しています。6割以上が「国会での採決反対」、8割以上が「政府の説明は不十分」と答えています。

また、ほとんどの憲法学者や元法制局長官、さらには元最高裁判事まで憲法の専門家から「憲法違反」と批判されても聞く耳持たず、安倍政権と自民公明は採決を強行しました。これから舞台は参議院に移りますが、法案

法案に「自然成立」はない

は、予算や条約のように衆議院で可決して一ヶ月経てば、自動的に「自然成立」しますが、法案にはこの制度はありません。

安倍政権が成立させようとするれば、参議院で強行採決をもう一回やるか、衆議院で3分の2以上の賛成で再議決を使って強行採決をやるか、いずれにしてももう一度強行採決をやる以外に道はありません。

「日本を戦争する国にさせない」憲法壊すさらに運動広げ廃案へ全力！

な「若者を戦場に送るな」と全国で大島で空前の規模で運動が広がっています。

暑い中ですがさらに強め広げ、強行採決ができない状況をつくり必ず廃案させましょう。

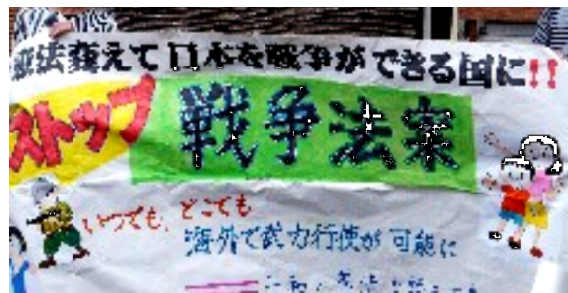
今、全国で学者や法律家、文化人、大学人、青年学生をはじめ各界、

空前の大きさ、深さで広がる 「戦争法案ノー」の運動 大島でも毎週街頭でリレートーク

各層、各分野の方々と市民が、政党政派、思想信条、宗教の違いをこえて、「戦争法案ノー」の運動に立ち上がっています。

大島でも、平和と憲法を語る会「の呼びかけで、毎週土曜日午後2時から街頭に出てリレートークを実施。これまで岡田、北の山、元町で行ない

それぞれ20人ほどが参加、リレートークには6、7人の方が代わる代わるマイクをにぎり、若者を戦場に送るな



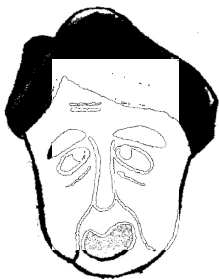
「語る会」製作の横断幕も登場

憲法9条壊し、「海外で戦争する国」に道を開く戦争法案が成立すると

「戦闘地域」での兵たん（後方支援）— 憲法違反の武力行使に道を開く。

戦乱が続く地域での治安活動 — 「殺し殺される」戦闘になる。

米国の無法な戦争への参戦 — ここに集団的自衛権の最大の現実的危険がある。



アベ「アイ アム総理(sorry)国民の声を聞く耳持っていないのじゃ。わしの耳は米国と財界用だけじゃ」

イスラム世界に親しまれてきた日本は、集団的自衛権で米軍と行動を共にすることで、敵視され、日本人がテロ攻撃の対象になる。

「戦争しない平和国家」のイメージが失われ、人道支援など非軍事の国際貢献が困難に。

軍事費がふくらみ、国民の暮らし・福祉を直撃。

「大島でも180人余の若者が戦死した二度と戦争する国にしてはならない」といふように戦争の火種を消しとめましょう」と訴えています。

また、「憲法を語る会」では、「これから毎週土曜日午後2時から行いますので、皆さんぜひ気軽にご参加を」とよびかけています。連絡先は会の世話人会の中田へ

4 1021



7月18日元町吉谷公園にて

「自由と平和のための京大有志の会」声明書

戦争は、防衛を名目に始まる。
 戦争は、兵器産業に富をもたらす。
 戦争は、すぐに制御が効かなくなる。

戦争は、始めるよりも終えるほうが難しい。
 戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。
 戦争は、人びとの四肢だけでなく、心の中にも深い傷を負わせる。

精神は、操作の対象物ではない。
 生命は、だれかの持ち駒ではない。

海は、基地に押しつぶされてはならない。
 空は、戦闘機の爆音に消されてはならない。

血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、
 知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。

学問は戦争の武器ではない。
 学問は、商売の道具ではない。
 学問は、権力の下僕ではない。

生きる場所と考える自由を守り、創るために
 私たちはまず、思い上がった権力にくさびを打ち込まなくては
 ならない。

(京都大学の教職員や学生が中心となって結成した「自由と平和のための京大有志の会」が7月15日に発表した安保安法



どんな問題でも軍事対軍事で なります。
 なく、外交的解決に徹する。 そうした
 私たちの住む北東 軍事”の悪循環にお
 アジアには、北朝鮮の ちいることが最も危
 核兵器問題、領土に 険なことではないで
 かかわる紛争問題、 しょうか。

北朝鮮の問題でも 日本共産党は、その
 困難はあっても「6力 ために「北東アジア平
 国協議」の枠組みに 和協力構想」を提案
 立ち返る外交努力を、 しています。この構想
 関係諸国と連携して 強めることこそが唯
 強めることこそが唯 一の解決の道ではな
 (ASEAN=東南ア ィア諸国連合)の取
 り組みです。ASEA Nは、「東南アジア友
 好協力条約」を締結

た平和外交戦略を確 立することこそ日本 に求められているこ とではないでしょうか。
 「北東アジア平和 協力構想」を提案
 この枠組みを北東 アジアにもつくりう と日本共産党は「北 東アジア平和協力構 想」を提唱、関係各 国との対話を続けて います。
 この文章は、志位委員長 が18日に行なった党創立 93周年記念講演から引

大島文学・紀行散策

学者・評論家編

兼常清佐(音楽学者)

「波浮の港・差木地村」など

八

2 孝 良
3 得
4 時

「波浮」の地名語源】前回、「波浮」

の地名語源として「ハブ」は「省り」

(「一部をけずり」とる)「放り」

(「放ち捨てる)あたりが語源で

「崖、崩れ地」を呼んだものとみる

べきか。《楠原佑介ほか編「古代

地名語源地名辞典」東京堂出版)と

の説を採用したことを紹介したが、

いつごろ「ハブ」と名づけられ、

「波浮」と書かれるようになったの

か特定する作業が残っているが、難

問である。

「波布比咩命神社」ところで、波浮

港口にある「波布比咩命神社」は

「波浮比咩命神社」と地名同様に書

かず「波布」と書かれている。

この神社は、927年に完成奏上

された延喜式(神命帳)に「波布比

咩(賣)命神社」と記載されてい

るのでこれに依ったものである。

「日本文徳天皇実録」によれば、仁

寿2年(852)12月15日の条に

「波布比咩命神 加縦五位上(神の

ランク 時得)」とある。なお、

1400年代に成ったといわれている

「三宅記」(三島大明神縁起・

島々縁起とも)では、三島大明神の

后ひとり「はぶの太后と名付けて

大島に置き給つ」とあり、「波布」

はひらがな書きとなっている。

神社の研究者として名のある土岐

昌訓氏は、「当社には江戸期の棟札

十枚を伝存する。早い時期のものは

羽部・波武・羽武などと書いてお

り、「ハブ」と連濁読みされたと思

われるが、享保(1715年)以降

は波浮の字に統一されてくる」と述

べておられる。(「伊豆大島の神社

信仰」)

大分横道にそれてしまったので本

道の兼常の文章紹介に戻ることにな

る。

《『波浮の港』中山晋平さんのあの

美しい民謡の一曲がなかったなら、

私は大島に来て、或いはここまで

来る気にならなかつたかもしれませ

ん。中山さんのあの唄は実に美し

い。私は数年前にあれを聞いた時に

は悉く感激したものです。中山さん

はその後のこの唄に似た技巧で多くの

地方の小唄を作りましたが、しかし

当時はまだ類が些なかつたせいしか何

かで、この『波浮の港』の一曲は特

に私の頭にあざやかに印象されてい

ます。「枯れすすき」や「東京行進

曲」などと共に私にはこの美しい小

唄は決して忘れられません」

(次号へ)